

## 川崎市青少年科学館所蔵両生・爬虫類標本目録

永井一雄\*・高梨沙織\*・柳下庸子\*・堀内慈恵\*・川島逸郎\*

A list of specimens of the Classes Amphibia and Reptilia deposited in the Kawasaki Municipal Science Museum,  
Kanagawa Prefecture

Kazuo Nagai\*, Saori Takanashi\*, Yoko Yagishita\*, Yoshie Horiuchi\*  
and  
Itsuro Kawashima\*

本稿は、2016年3月の時点で川崎市青少年科学館（通称：かわさき宙（そら）と緑の科学館）に収蔵されている両生類および爬虫類標本を目録化したものである。これら2つの分類群は、これまで川崎市として系統立った調査や採集活動はなされておらず、主に市民や職員による拾得等によって標本資料の集積が図られてきた。これらの内訳は、液浸標本、乾燥標本や交連骨格等から構成され、総数は153点（この内、データ不明のものは6点）となっている。川崎市域の標本群としては、必ずしもまとまったものではない上に、データが不明あるいは不十分なものも少なくない。しかし、都市化がいつそう進行し自然環境が大きく改善する見込みのない川崎市域にあっては、今後、これらの分類群の生物はますます衰退の一途を辿るものと想定される。このような状況により、当市域で過去に得られた自然史資料としては、時間の経過に伴いその価値や意義を増してゆく事が確実であるため、ここに標本データを取りまとめて公表しておく。現在の川崎市においては、これら分類群の生息状況については、継続してのモニタリング調査を要することから、本目録も単なる標本データの羅列にとどめず、神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006（新井, 2006a; b）におけるランクに加えて、川崎市域における現況等にも簡単に触れておく事とした。

今回のリスト化に当たっては、哺乳類（永井他, 2015b）および鳥類（永井他, 2015a）と同様に、川崎青少年科学館の標本番号に機関略号として改めて「KMM」を採用し、両生類標本にはKMM-AM（=Amphibia）を、爬虫類にはKMM-RP（=Reptilia）を用いた。当館において、統一した機関略号が改めて制定された経緯は永井他（2015a; b）で述べられた通りで、今回定めた標本番号は、新たな機関略号だけを置換し、旧略号「3H」（両生類・爬虫類共通）に連なっていた旧番号をそのまま移行させたものである。旧略号は二つの分類群に跨って番号が振られていたために、各分類群で連番とはなっていない部分がある点を付記しておく。なお、現時点での保管場所に関しては、乾燥標本（含脱皮殻）は収蔵庫に、液浸標本は便宜的に倉庫（旧収蔵庫）に配架されている。

一部の種についての情報をご教示頂いた佐藤寛恵氏（川崎市立日本民家園）には、記してお礼を申し上げる。

### 凡例

1) 学名や和名、分類群の配列は、原則として日本産爬虫両棲類学会（編）(2004) に準じたが、亜種名およびその和名は採用しなかった。

- 2) 各データは個体数および性別（標本の状態および展示場所）、採集地名、採集年月日、採集/拾得者または機関名、標本番号の順に記した。
- 3) 性別は記号（♂♀）で示したが、区別が不明な場合には、単に個体数を示す「ex (s)」とした。
- 5) 成熟度が判別可能なものは、個体数の直後に、成体は「成」、亜成体は「亜」、幼体は「幼」と記した。
- 6) 標本の状態は、液浸標本は「液」、本剥製は「本」、乾燥標本は「乾」、交連骨格は「交」、脱皮殻は「脱」、未処理で冷凍状態の標本は「冷」と略記し、2015年の時点で常設展示に供しているものは「常」と記した。
- 7) 採集地は北（西）から南（東）へと配列した。また、市区町村については川崎市内産の標本は市名を略し、区ごとに、[]（ブラケット）内に区名を挙げた上で括った。川崎市以外の標本は、同様に都県名を示した。地名のほか、施設で得られたものは、丸括弧内にその名を付記した。
- 8) 同一産地の標本は、採集年月日の古いものから順に配列した。オリジナルラベルに記された産地の記載は個人宅を含むものもあるため、原則として町名（丁目）までとし、番地などは省略した。
- 9) 採集年月日は西暦4桁と月日とを繋ぐ8桁の数値で表し（例：2009年7月21日＝20090721）、不明の場合はアスタリスクで表記した（例：1997年10月＝199710\*\*）。
- 10) 採集者氏名は、オリジナルラベルでの表記が苗字（姓）のみである場合、個人が特定できる可能性が高い場合でも、そのまま記すに留めた。不明の場合および機関または団体名の場合には、丸括弧内にその旨を記した。
- 11) 川崎市青少年科学館（かわさき宙（そら）と緑の科学館）の機関略号として「KMM」を採用し、両生類標本は「KMM-AM-」を、爬虫類標本は「KMM-RP-」を用いた。新たな略号のみを置換、標本番号については、旧分類記号「3H」（両生類・爬虫類）に連なっていた旧番号をそのまま引き継いだ。
- 12) 採集情報その他が不明のものは [データ不明] とし、末尾に記した。

### 目録

両生綱 Class Amphibia Gray, 1825  
有尾目 Order Caudata Scopoli, 1777

\*川崎市青少年科学館（かわさき宙<sup>そら</sup>と緑の科学館）  
Kawasaki Municipal Science Museum

イモリ科 Family Salamandridae Goldfuss, 1820

アカハライモリ *Cynops pyrrhogaster* (Boie, 1826)

[千葉県] 1 ex. (成・液), 市原市, 198810\*\*, 北川 徹, KMM-AM-00079.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「絶滅危惧 I 類」。川崎市域では、止水環境の劣化や消失が著しいことから、絶滅が危惧される状況にあると想定される。1970 年代後期では、宮前区菅生 1 丁目 (菅生小学校北側) にあった、樹陰下の小池において、多くの水生半翅類とともに本種が生息していたが、当地の標本としては残っていない。

無尾目 Order Anura Fischer von Waldheim, 1831

ヒキガエル科 Family Bufonidae Gray, 1825

アズマヒキガエル *Bufo japonicus formosus* Boulenger, 1883

[麻生区] 4 exs. (幼〜若・液), 栗木, 19840624, 飯草, KMM-AM-00049, 1 ex. (成・液), 高石 6 丁目, 20160308, 柳下庸子, KMM-AM-00118.

[多摩区] 2 exs. (幼〜若・液), 寺尾台 2 丁目, 19840619, 小林正人, KMM-AM-00047; 1 ex. (若・液), 枳形 7 丁目 (生田緑地), 19840621, 木下あけみ, KMM-AM-00048.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。生田緑地では、現在も「奥の池」や北部の谷戸 (枳形 6 丁目) などで産卵が観察される。

アマガエル科 Family Hylidae Rafinesque, 1815

ニホンアマガエル *Hyla japonica* Günther, 1859

[麻生区] 11 exs. (幼・液), 早野/ 黒川, 19840624-19870623, (採集者不明), KMM-AM-00001 (4 exs., 早野, 19870618; 3 exs., 早野, 19870623; 2 exs., 早野, 19870623, (峯岸秀雄同定); 2 exs., 黒川, 19840624, (北川 徹同定)); 15 exs. (幼・液), 早野, 19830428-19870618, (かわさき自然調査団), KMM-AM-00055 (3 exs., 早野 (下谷池), 19830428; 3 exs., 早野, 19870618; 2 exs., 早野 (早野霊園), 19870618; 7 exs., (データ未記入)).

[多摩区] 21 exs. (幼・液), \*\*\*\*\* (採集者不明), KMM-AM-00002 (1 ex., 菅野戸呂 3 丁目, 19860620; 2 exs., 登戸, 19860701; 6 exs., 登戸, 19860702; 2 exs., 菅馬場, 19870625; 3 exs., 宿河原, 19860626; 2 exs., 宿河原元木, 19860626; 3 exs., 枳形 1 丁目, 19860715, 鈴木; 2 exs., 枳形, 19870628); 1 ex. (若), 枳形 7 丁目 (生田緑地・菖蒲園脇), 20150710, 川島逸郎, KMM-AM-00111.

[宮前区] 3 exs. (幼・液), 平田, 19860625, (採集者不明), KMM-AM-00003.

[中原区] 2 exs. (幼・液), 上小田中/ 井田杉山町, 19870625-00704, (採集者不明), KMM-AM-00004 (1 ex., 上小田中, 19870704; 1 ex., 井田杉山町, 19870625).

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) では、いずれの категория にもランクされていないが、地域によっては、近年大幅に減少している可能性がある。川崎市域においても、少なくとも 2014~2015 年の生田緑地では、その鳴き声が確認できていないことから、その生息状況には今後も留意する必要がある。なお、佐

藤寛恵氏 (日本民家園) によれば、時折、同園事務室から菖蒲園近辺での鳴き声が聞こえるとの事である。

アカガエル科 Family Ranidae Rafinesque, 1814

ニホンアカガエル *Rana japonica* Boulenger, 1879

[麻生区] 1 ex. (幼〜若・液), 黒川柳之町, 19870608, (採集者不明), KMM-AM-00007.

[多摩区] 1 卵塊 (液), 南生田 2 丁目, 19870214, 関 利克 (木下あけみ同定), KMM-AM-00054.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「絶滅危惧 II 類」。

ヤマアカガエル *Rana ornativentris* Werner, 1903

[麻生区] 3 exs. (幼・液), 黒川明坪, 19870623, (採集者不明), KMM-AM-00005.

[多摩区] 2 exs. (幼・液), 南生田 2 丁目, 19870214 (卵塊採集・飼育), 関 利克, KMM-AM-00006.

トウキョウダルマガエル *Pelophylax porosus porosus* (Cope, 1868)

[麻生区] 1 ex. (幼・液), 黒川明坪, 19870615, KMM-AM-00008; 1 ♀ (成・液), 黒川広町, 19881026, 増渕和夫, KMM-AM-00050.

[宮前区] 1 ex. (幼・液), 菅生, 19860626, (採集者不明), KMM-AM-00036.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「絶滅危惧 II 類」。例えば高津区から宮前区の水田地帯 (例えば、宮前区蔵敷から稗原中学校に掛けて、平瀬川沿いにあった水田地帯) では、1970 年代後期~1980 年代初頭にかけては、無尾目 (カエル類) の最優占種であった。最近の記録としては、わずかに幸区から再確認された 1 例があるにすぎず (岩田他, 2011)、現在の川崎市域においてはもっとも絶滅が危惧される種のひとつである。

ツチガエル *Glandirana rugosa* (Temminck et Schlegel, 1838)

[麻生区] 1 ex. (幼・液), 黒川柳之町, 19870426 (0619 固定), (採集者不明), KMM-AM-00009.

[宮前区] 1 ex. (幼・液), 犬蔵, \*\*\*\*\* (採集者不明), KMM-AM-00037.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。

アオガエル科 Family Rhacophoridae Hoffman, 1932

シュレーゲルアオガエル *Rhacophorus schlegelii* (Günther, 1858)

[多摩区] 1 ex. (成・液), 枳形 7 丁目 (生田緑地・日本民家園入口), 19870502, 秋葉, KMM-AM-00010; 1 ex. (成・液), 枳形 7 丁目 (生田緑地・噴水池), 19881206, 谷合利幸, KMM-AM-00051; 1 ex. (成・液), 枳形 7 丁目 (生田緑地・青少年科学館裏), 19880602, 増渕和夫 (木下あけみ同定), KMM-AM-00052; 1 ex. (幼), 東生田 2 丁目, 19850615, 林 美幸, KMM-AM-00053.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。生田緑地においては、無尾目でもっとも個体数が

多い種と考えられるが、幼生が生活可能な水域はある程度限定されている可能性もあり、その生息状況には今後も留意が必要である。

#### 移入種・国外外来種

アカガエル科 Family Ranidae Rafinesque, 1814

ウシガエル *Lithobates catesbeianus* (Shaw, 1802)

[多摩区] 1 ex. (幼・液), 枳形7丁目 (生田緑地・奥の池), 20150823, 永井一雄, KMM-AM-00114.

爬虫綱 Class Reptilia Linnaeus, 1758

有鱗目 Order Squamata Oppel, 1811

トカゲ亜目 Suborder Lacertilia Owen, 1842

トカゲ科 Family Scincidae Gray, 1825

ヒガシニホントカゲ *Plestiodon finitimus* Okamoto & Hikida, 2002

[多摩区] 1 ex. (液・亜), 枳形7丁目 (生田緑地・中央広場), 20150920, 川島逸郎・高梨沙織, KMM-RP-00116.

[宮前区] 1 ex. (液・常), 白幡台1丁目, 19900420, 岩片紀美子 (木下あけみ同定), KMM-RP-00045.

カナヘビ科 Family Lacertidae Oppel, 1811

ニホンカナヘビ *Takydromus tachydromoides* (Schlegel, 1838)

[高津区] 1 ex. (液), 北見方, 19880520, 成田和子 (北川 徹同定), KMM-RP-00044.

[宮前区] 1 ex. (脱), 向ヶ丘, 19830727, 上西登志子 (北川 徹同定), KMM-RP-00012 (KMM-RP-00068 と同一個体); 1 ex. (乾), 向ヶ丘, 19830727, 上西登志子, KMM-RP-00068 (KMM-RP-00012 と同一個体).

ヘビ亜目 Suborder Serpentes Linnaeus, 1758

タカチホヘビ科 Family Xenodermatidae Gray, 1849

タカチホヘビ *Achalinus spinialis* Peters, 1869

[麻生区] 1 ex. (液), 栗木, 19870531, 木下あけみ (北川同定), KMM-RP-00013.

[多摩区] 1 ex. (液・常), 枳形7丁目 (生田緑地), 19950603, 橋本信宏, KMM-RP-00064; 1 ex. (幼・液), 東生田2丁目, 19860623, 林美幸 (北川 徹同定, 19860713), KMM-RP-00014; 1 ex. (乾), 東生田, 19871013, 佐藤公典・渡辺 勝・岡田一平・沢竹忠臣, KMM-RP-00015.

[宮前区] 1 ex. (乾), けやき平1丁目, 19890730, 上西愛子, KMM-RP-00067.

[高津区] 1 ex. (本), 久地1丁目 (久地不動尊), 19860810, 宮川昌彦 (北川 徹同定), KMM-RP-00016; 1 ex. (乾), 久地1丁目 (久地不動尊), 198705\*\*-06\*\*, 宮川昌彦 (北川 徹同定), KMM-RP-00017; 1 ex. (本), 久地1丁目 (久地不動尊), 198705\*\*-06\*\* 宮川昌彦 (北川 徹同定), KMM-RP-00018; 1 ex. (本), 久地1丁目 (久地不動尊), 198705\*\*-06\*\* 宮川昌彦 (北川 徹同定), KMM-RP-00019; 1 ex. (乾), 久本, \*\*\*\*0724, (採集者不明), KMM-RP-00082.

ナミヘビ科 Family Colubridae Oppel, 1811

シマヘビ *Elaphe quadrivirgata* (Boie, 1826)

[麻生区] 1 ex. (脱), 黒川柳の町, 19860806, 増淵 (北川 徹同定), KMM-RP-00020; 1 ex. (幼・乾), 王禅寺, 19831027, 峯岸秀雄 (橋本信宏同定), KMM-RP-00072.

[多摩区] 1 ex. (幼・液・常) 枳形7丁目 (生田緑地), 19850727, 木下あけみ (北川 徹同定), KMM-RP-00021; 1 ex. (交), 枳形7丁目 (生田緑地・東口駐車場), 19960517, (採集者不明 (うさぎ幼稚園児)), KMM-RP-00075.

[神奈川県] 1 ex. (脱), 横浜市緑区寺家町, 19880521, 上西智子 (北川 徹同定), KMM-RP-00084.

[長野県] 1 ex. (液), 諏訪郡富士見町 (鹿の沢川・下蔦木), 19900430, 平出 暢, KMM-RP-00040.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。

ジムグリ *Euprepiophis conspicillatus* (Boie, 1826)

[多摩区] 1 ex. (乾), 西生田1丁目 (日本女子大学構内), \*\*\*\*\*, (採集者不明), KMM-RP-00085; 1 ex. (幼・液・常), 枳形7丁目 (生田緑地), 19850528, 林美幸 (北川 徹同定), KMM-RP-00022.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) ではリンクされていないが、現在の川崎市においては、とりわけ減少の著しい種と考えられる。

アオダイショウ *Elaphe climacophora* (Boie, 1826)

[麻生区] 1 ex. (脱), 片平, 19820807, 志村 修 (北川 徹同定), KMM-RP-00023.

[多摩区] 1 ex. (乾), 西生田1丁目 (日本女子大学構内), \*\*\*\*\*, (採集者不明), KMM-RP-00089; 1 ex. (脱), 登戸, 19840730, (採集者不明 (伊藤工業)), KMM-RP-00057; 1 ex. (脱), 宿河原, 20140814, KMM-RP-00088; 1 ex. (脱), 枳形6丁目 (生田緑地・日本民家園), 20150720, 津田由美子, KMM-RP-00112; 1 ex. (脱), 枳形7丁目 (生田緑地), 19860724, 佐藤 弘 (北川 徹同定), KMM-RP-00025; 1 ex. (脱), 枳形7丁目 (生田緑地), 19900728, 木下あけみ, KMM-RP-00062; 1 ex. (脱), 枳形7丁目 (生田緑地・日本民家園), 19910907, 小坂広志, KMM-RP-00063; 1 ex. (液), 枳形7丁目 (生田緑地), 19900531, 木下あけみ, KMM-RP-00086; 1 ex. (脱), 枳形7丁目 (生田緑地), 20130928, 中井寿一, KMM-RP-00087; 1 ex. (脱皮殻), 枳形7丁目 (生田緑地・つつじ山), 20150926, 川島逸郎・柳下庸子・高梨沙織, KMM-RP-00117; 1 ex. (冷), 枳形6丁目 (生田緑地), 20150523, (採集者不明/ 生田緑地整備事務所職員), KMM-RP-00109; 1 ex. (脱), 東生田2丁目, 19860531, 岩崎愛子 (北川 徹同定), KMM-RP-00024; 1 ex. (脱), 東生田2丁目, 19870905, 岩崎愛子, KMM-RP-00056.

[高津区] 1 ex. (幼), 久地, 198605\*\*, 宮川昌彦 (北川 徹同定), KMM-RP-00026; 1 ex. (幼・液), 北見方 (二ヶ領用水浴い), 19881007, 成田和子 (北川 徹同定), KMM-RP-00042.

[中原区] 1 ex. (脱), 小杉陣屋町, 19\*\*\*\*\*, 谷口勝直 (北川 徹同定), KMM-RP-00027.

[神奈川県] 1 ex. (脱), 平塚市片岡 (金目川河原), 19890611, 前田玲

子, KMM-RP-00058;

[データ不明] 1 ex. (脱), KMM-RP-00090; 1 ex. (脱), KMM-RP-00091.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。現在の川崎市域においては、ヘビ類ではもっとも多く残っている種のひとつと考えられる。

ヒバカリ *Amphisma vibakari* (Boie, 1826)

[多摩区] 1 ex. (幼・液), 登戸, 19840617, 杉山広美 (北川 徹同定, 19860613), KMM-RP-00031; 1 ex. (幼・乾), 西生田1丁目 (日本女子大学付属高等学校), 19861003, 峯岸秀雄, KMM-RP-00070; 1 ex. (脱), 枳形7丁目 (生田緑地), 19860829, 吉田三夫, KMM-RP-00032; 1 ex. (液), 枳形7丁目 (生田緑地), 19941015, 谷合, KMM-RP-00066; 1 ex. (幼・液), 枳形7丁目 (生田緑地・野鳥観察小屋), 20020607, 佐藤, KMM-RP-00076; 1 ex. (液), 枳形7丁目 (生田緑地・野鳥観察コース), 20081109, (採集者不明), KMM-RP-00077; 1 ex. (乾), 東生田2丁目, 19890822, 佐野, KMM-RP-00065.

[中原区] 1 ex. (液・常), 木月3丁目, 19841108, 黒崎秀雄, KMM-RP-00033.

[神奈川県] 1 ex. (液), 横浜市緑区寺家町, 19890701, 佐野, KMM-RP-00092.

[データ不明] 1 ex. (液), KMM-RP-00093; 1 ex. (液), KMM-RP-00094.

シロマダラ *Dinodon orientale* (Hilgendorf, 1880)

[麻生区] 1 ex. (乾), 黒川西谷, 19871015, 宮永光子 (北川 徹同定), KMM-RP-00028; 1 ex. (液), 王禅寺, 19830701, 峯岸秀雄, KMM-RP-00059.

[多摩区] 1 ex. (幼・乾), 菅馬場4丁目, 19850913, 峯岸秀雄 (橋本信宏同定), KMM-RP-00069; 1 ex. (乾), 西生田1丁目 (日本女子大学構内), \*\*\*\*\*, (採集者不明), KMM-RP-00104; 1 ex. (脱), 枳形7丁目 (生田緑地・川崎市青少年科学館裏), 19870604, 千葉 勇 (橋本信宏同定), KMM-RP-00061; 1 ex., 枳形7丁目 (東口通路上), 20150905, 永井一雄, KMM-RP-00115; 1 ex. (液・常), 東生田2丁目, 19841106, 林 美幸 (峯岸秀雄同定), KMM-RP-00029; 1 ex. (液), 東生田2丁目, 19900727, 林 美幸, KMM-RP-00108.

[宮前区] 1 ex. (幼・液), 神木本町2丁目 (東高根森林公園), 19931020, 伊藤, KMM-RP-00060; 1 ex. (成・乾), 平3丁目 (平中学校前), 19870621, 林 美幸 (北川 徹同定, 19871212), KMM-RP-00030.

[データ不明] 1 ex. (液), \*\*\*\*0909, KMM-RP-00105.

ヤマカガシ *Rhabdophis tigrinus* (Boie, 1826)

[麻生区] 1 ex. (本), 片平, 19840908, 若宮崇令 (北川 徹同定), KMM-RP-00034.

[多摩区] 1 ex. (乾), 菅馬場4丁目, 19850905, 峯岸秀雄, KMM-RP-00071; 1 ex. (液), 枳形7丁目 (生田緑地), \*\*\*\*\*, 若宮崇令, KMM-RP-00106; 1 ex. (幼・液・常), 枳形7丁目 (生田緑地・日本民家園～川崎市青少年科学館), 19881018, 林 健治, KMM-

RP-00043.

[宮前区] 1 ex. (脱), 神木本町2丁目 (東高根森林公園), 19901025, 鬼塚陽子, KMM-RP-00083.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。1970年代から1980年代初頭には、高津区から宮前区にかけての地域でも多かったが、現在では、多摩区生田緑地においても見られない種となっている。

クサリヘビ科 Family Viperidae Laurenti, 1768

ニホンマムシ *Gloydus blomhoffi* (Boie, 1826)

[長野県] 1 ex. (成・液), 諏訪郡富士見町, 1990\*\*\*\*, 若宮崇令 (北川 徹同定), KMM-RP-00039.

[データ不明] 1 ex. (乾), KMM-RP-00107.

神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 (新井, 2006) における「要注意種」。各地で減少が顕著な種と考えられ、川崎市域においても絶滅が危惧される状況に陥っている可能性がある。

移入種・国外外来種

ヤモリ科 Family Gekkonidae Gray, 1825

ニホンヤモリ *Gekko japonicus* (Duméril et Bibron, 1836)

[多摩区] 1 ex. (液), 菅1丁目, 19850214, 井口与吉, KMM-RP-00011; 1 ex. (幼・液), 枳形7丁目 (生田緑地・川崎市青少年科学館), 20141031, 荻野, KMM-RP-00110; 1 ex. (若・液), 枳形7丁目 (生田緑地・中央広場), 20150725, 川島逸郎, KMM-RP-00113; 1 ex. (幼・液), 東生田2丁目, 19861013, 林 美幸, KMM-RP-00046.

## 引用文献

新井一政, 2006a. 爬虫類 pp. 265-268, *In*: 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 (編), 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006. 442 pp., 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

新井一政, 2006b. 両生類 pp. 269-273, *In*: 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 (編), 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006. 442 pp., 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

岩田芳美・江崎佳章・佐々木聖一郎, 2011. 幸区のトウキョウダルマガエル. p. 151, *In*: 特定非営利活動法人 かわさき自然調査団 (編), 川崎市自然環境調査報告 VII. 239 pp., 川崎市教育委員会, 川崎.

北川 徹, 1987. 川崎市の両生類・は虫類 pp. 83-90, *In*: 川崎市自然調査企画編集委員会・川崎市青少年科学館 (編), 1987. 川崎市自然環境調査報告 I. 152 pp., 川崎市教育委員会, 川崎.

永井一雄・村山早紀・柳下庸子・堀内慈恵・川島逸郎, 2015a. 川崎市青少年科学館所蔵鳥類標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (25): 39-46.

永井一雄・村山早紀・柳下庸子・堀内慈恵・川島逸郎, 2015b. 川崎市青少年科学館所蔵哺乳類標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (25): 47-53.

日本産爬虫両棲類学会 (編), 日本産爬虫両生類標準和名 (2014年11月9日改訂). <http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei.html> (閲覧日: 2015年8月24日)